

令和3年度第4回江東区環境審議会会議録（書面開催）

1 書面開催日程 令和4年3月7日～令和4年3月15日

2 審議会委員

| | | |
|-------|-----|-----------------------------|
| 会 長 | 柳 | 憲一郎（明治大学名誉教授） |
| 副 会 長 | 長谷川 | 猛（元東京都環境局理事） |
| 委 員 | 芦 谷 | 典 子（東洋大学教授） |
| | 奥 | 真 美（東京都立大学教授） |
| | 村 上 | 公 哉（芝浦工業大学教授） |
| | 市 川 | 英 治（東京商工会議所江東支部副会長） |
| | 岡 野 | 俊 也（東京ガス株式会社東京東支店支店長） |
| | 中 島 | 宏 幸（東京電力パワーグリッド株式会社江東支社支社長） |
| | 岡 本 | 一 惠（区民公募委員） |
| | 田 中 | 真 司（区民公募委員） |
| | 池 崎 | 一 雄（区民委員・江東区立中学校PTA連合会長） |
| | 米 沢 | 和 裕（区議会・区民環境委員会委員長） |
| | 石 川 | 邦 夫（区議会・区民環境委員会副委員長） |

3 議題

【報告】

- (1) 江東区一般廃棄物処理基本計画（案）について
- (2) 江東区災害廃棄物処理計画（案）について
- (3) 令和4年度環境関連施策の予算概要について

4 配付資料

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 資料1 | 江東区環境審議会委員名簿 |
| 資料2-1 | 江東区一般廃棄物処理基本計画（案）について |
| 資料2-2 | 江東区一般廃棄物処理基本計画（案） |
| 資料2-3 | 江東区一般廃棄物処理基本計画（素案）パブリックコメント意見内容 |
| 資料3-1 | 江東区災害廃棄物処理計画（案）について |
| 資料3-2 | 江東区災害廃棄物処理計画（案） |
| 資料3-3 | 江東区災害廃棄物処理計画（素案）パブリックコメント意見内容 |
| 資料4 | 令和4年度環境関連施策の予算概要について |
| 資料5 | 令和3年度第3回江東区環境審議会会議録（案） |
| 参 考 | 区民環境委員会案件表 |

5 書面開催の経緯

令和3年度第4回江東区環境審議会は、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止のため、会を設けての実施を取りやめ、書面での開催としました。

書面開催では、配布資料を郵送にて送付し、議題について各委員に意見書の提出を求めました。

6 結果

(1) 議題について

全委員にて了承となりました。（別紙1）

(2) ご意見・ご質問について

今回の審議にあたり、7名の委員からご意見等がありました。（別紙2）

別紙 1

令和3年度第4回江東区環境審議会の議題とご意見等について

| 区 分 | 氏 名 (敬称略・順不同) | 意見書の 提出 | 議題の 了承 | ご意見等 |
|-------------------|------------------|------------|-----------|------|
| 学 識 経 験 者 (5名) | 芦 谷 典 子 | ○ | 了 | ○ |
| | 奥 真 美 | ○ | 了 | |
| | 副会長 長 谷 川 猛 | ○ | 了 | ○ |
| | 村 上 公 哉 | ○ | 了 | ○ |
| | 会 長 柳 憲 一 郎 | ○ | 了 | |
| 事 業 者 代 表 (3名) | 市 川 英 治 | ○ | 了 | |
| | 岡 野 俊 也 | ○ | 了 | ○ |
| | 中 島 宏 幸 | ○ | 了 | |
| 住 民 代 表 (3名) | 岡 本 一 恵 | ○ | 了 | ○ |
| | 田 中 真 司 | ○ | 了 | ○ |
| | 池 崎 一 雄 | ○ | 了 | |
| 区 議 会 議 員 (2名) | 米 沢 和 裕 | ○ | 了 | |
| | 石 川 邦 夫 | ○ | 了 | ○ |

| No. | 委員名 | ご意見・ご質問 | 事務局回答 |
|-----|--------|--|--|
| 1 | 芦谷 委員 | 2つの廃棄物処理計画についてのパブコメ意見を拝見しました。広くいって廃棄物は、区民の皆様が毎日直面するものであり、また処分が必要なもの、置き場所やパッケージをどうするかといった悩みをもたらしうるものだと思います。これらを快適に行いたいという思いは区民の皆様と共通する思いであろうと察せられますし、そうした思いがパブコメ意見にも反映されているように拝見しました。区がご回答でありますように、両計画とも網羅的な計画として提示されておりますなかで、区民の皆様が求められている実践面の課題をひとつひとつ解決してゆくことが、今後求められてゆくのではないのでしょうか。計画に根差した具体的な行動、実践といったところに、区がどのように関係していくかということに、委員の一人としても、期待をいたしたく思います。 | ご意見をありがとうございます。 区民・事業者が、より一層ごみ減量に取り組みやすい環境となるように、ひとつひとつの課題を整理し、施策展開してまいります。 (清掃リサイクル課) |
| 2 | 長谷川 委員 | エコミラ江東について。 先日、所用があり、知的障害者を雇用し、区の収集物を中心に、区内の事業者が持ち込む、トレイや発泡スチロールを分別・溶融し、ペレットを製造しているエコミラ江東を訪問しました。私、同社の設立時に、事業者へのトレイ等の持込要請に協力をしたことがあるので、現在の状況をお聞きしました。その結果は、持込み希望量が多いが、現状では処理できない。このため、今後、知的障害者の雇用を増やし2交代、8時間操業（知的障害者は6時間勤務）にしたいと考えている、とのことでした。 私、23区1組も、次の清掃工場立替時は、収集ごみの分別をし、焼却量を減らす必要があると考えています。また、その際は、エコミラ江東のような福祉事業としてリサイクルを行っている企業を傘下に入れることは有意義なことと考えています。江東区は、エコミラ江東の設立に際し、用地の確保、トレイ等の分別収集と、分別収集物のリサイクルの委託という大きな貢献をしています。今後とも、エコミラ江東の事業拡大に協力されるとともに、23区でも同種の事業への取組を行うように発信されることを期待しています。 | ご意見をありがとうございます。 エコミラ江東については、発泡トレイ・スチロールの資源化だけでなく、障害者雇用、環境教育が一体化した施設であり、本区にとって必要なものと認識しております。今後も、協定に基づき、現在行っている支援を継続しつつ、助言・指導をしてまいります。 (清掃リサイクル課) |
| 3 | 村上 委員 | 特に意見や質問はありません。以下はコメントです。 「一般廃棄物処理基本計画」および「災害廃棄物処理計画」に対するパブリックコメントを拝読しましたが、江東区民の皆さんの意識の高さを感じました。 そのためか、一般廃棄物の分別に悩んでいる意見が目につきました。ごみ分別アプリをダウンロードしてみました。スマホは便利ですが、お年寄りには難しいかもしれません。また、文章の説明のみではなく簡単な分別用のユーチューブ（説明動画）があることより便利と感じました。 また、食品ロスと福祉の観点からフードドライブへのニーズもより高まると思いますので、家庭で余っている食品を持ち寄れる場所（フードバンク）情報の広報も重要と感じました。 災害時の廃棄物処理の事前計画が非常に大切であることを感じました。特に、仮置場用地の確保や、避難所・家庭における腐敗系、し尿などの衛生対策等。 | コメントをありがとうございます。 分別方法の周知については、様々なコンテンツを用いて幅広い世代に発信することが大切と考えています。 災害廃棄物の処理については、事前に計画を十分に練り、災害発生時には、計画に即って適切な処理をしてまいります。 (清掃リサイクル課) |
| 4 | 岡野 委員 | 江東区一般廃棄物処理基本計画（案）、江東区災害廃棄物処理計画（案）に賛同します。 また、令和4年度環境関連施策の予算に関しても、脱炭素社会の実現に向けた、足元での必要な取組が盛り込まれていると考えます。 今後、江東区では、地下鉄8号線沿線のまちづくりなど、新たなまちづくり構想が策定されるとお聞きしています。脱炭素や廃棄物処理等の環境面の課題解決についても、新たなまちづくり構想において議論が深まることを期待します。 | ご意見をありがとうございます。 引き続き、ゼロカーボンシティ江東の実現のために、区民や事業者と一体となって、脱炭素社会に向けた取組を推進してまいります。 また、区では本年度、都市計画マスタープランを策定しました。そして、来年度、（仮称）地下鉄8号線沿線まちづくり構想の策定が始まります。今後、環境への更なる配慮に向け、所管部署と協力して努めてまいります。 (温暖化対策課) |
| 5 | 岡本 委員 | 配布資料2-3のパブリックコメント意見内容に区民のごみ分別認識が不十分との指摘があります。区としてはごみの分け方・出し方のパンフレットを全戸配布するなど普及啓発に努めておられることは承知していますが、それらが多数の区民に有効に活用されているかは疑問です。手元に置き日々のごみ分別に重宝している人がいる一方で、ほとんど利用したことがない人が少なからずいることも事実です。習慣化した人には当たり前のごみ分別も、慣れない人には難解で面倒な作業です。孤立無援よりも近しい人たちと共に取り組む方が早く慣れ長続きするのではないかと思います。町会や集合住宅の管理組合、自治会などの単位で、図ではなく実物を展示し、文字ではなく言葉で説明し質問も交えての意思疎通が可能な勉強会のようなものが実現できないでしょうか。 | ご意見をありがとうございます。 区では、資源・ごみの分別の周知や徹底を図るため、町会・自治会・ご近所同士のグループ等の団体から希望があった場合、出張勉強会を行っています。職員が出張し、実物をお見せしながら資源やごみの分け方・出し方について説明を行い、日々の疑問を解消していただいています。令和元年度までは年間1〜3団体程度実施していましたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施出来ておりません。今後は、状況を見ながら出張勉強会を再開し、区民の分別意識の向上を図ってまいります。 (清掃リサイクル課) |
| 6 | 田中 委員 | (1) 資料2-2 江東区一般廃棄物処理基本計画 13頁 ・「ごみ戦争」について、戦争という言葉を使うことに違和感を持つようになりました。しかし、13頁を読むと当区が発した言葉でなく都知事が宣言したことを知り、使うことは是非を問わないことになりました。 ・61頁 一行目 文字の一部が枠線に隠れています。修正を。 資料2-3 パブリックコメント意見内容のとりまとめ、ありがとうございます。 177項目のうち「分別・分け方」に関する意見が10件以上あり、更なる普及啓発が必要だと感じました。 (2) 資料4 別添 「環境検定」について、対象を中学生以上とした理由を教えてください。 区民の環境意識の向上のために、小学生高学年からでも良いのでは？ | (1) ご意見をありがとうございます。 ごみ減量の動機付けの観点からも、いわゆる「ごみ戦争」にかかる本区の苦渋の歴史については、決して風化させてはならないと考えています。一方で、今後は未来志向で23区で連携・協調し、ごみの減量とリサイクルの推進をしていくことが重要です。 文字の一部が枠線に隠れている箇所は修正いたします。 ・どんなにごみ減量したとしても、必要最低限のごみは発生しますので、それに対する正しい分別が徹底するよう区民の分別意識の向上を図ってまいります。 (清掃リサイクル課) (2) ご意見をありがとうございます。 環境検定の主な対象を中学生以上とした理由は、区立全小学校（義務教育学校含む）の5・6年生児童が、環境月間に「環境に配慮した行動」を実践する「カーボンマイナスこどもアクション」に取り組んだ後、中学生になってからも切れ目なく、環境学習の機会を持続的に提供するためです。なお、小学生高学年の児童が受検することも可能となっております。 (温暖化対策課) |
| 7 | 石川 委員 | 予算概要について。 ゼロカーボンシティ江東の実現のため、具体的な事業を積極的に取り組んでもらいたい。 2050年までの実質ゼロに向け、先が長いようで短く感じるはずなので、毎年事業が増加した取組を期待しています。 | ご意見をありがとうございます。 ゼロカーボンシティ江東の実現のため、環境基本計画（後期）に基づき、より一層の脱炭素に向けた取組を着実に進めてまいります。 令和4年度からは本区独自の取組みとして、中学生を主な対象とした「環境検定」を開始いたします。 (温暖化対策課) |